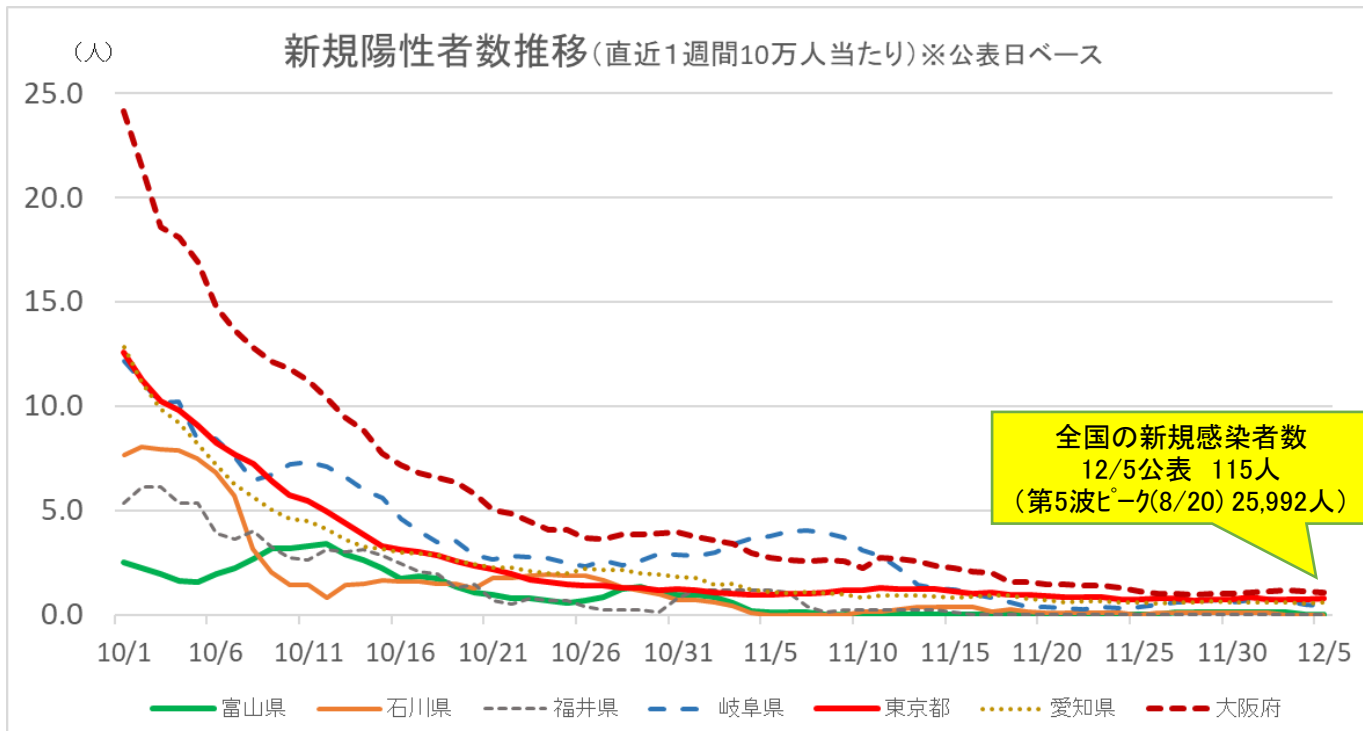


県内の感染状況等

全国的に感染者数は非常に低い水準で推移しており、
 県内でも落ち着いた状況が継続（11月の新規感染者数は1名）



ロードマップの判断指標（直近1週間1日当たり平均）

指 標		基 準	現状 (12/5現在)
医療提供 体 制	①入院者数	140人未満	0.1人
	②重症病床稼働率	30%未満	0.0%
感染状況	③新規陽性者数 (人口100万人当たり)	10人未満	0.0人
	④感染経路不明の新規陽性者数 (人口100万人当たり)	4人未満	0.0人

「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の見直し

(第81回 政府対策本部決定 (R3.11.19))



- 「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像 (R3.11.12政府対策本部決定) を踏まえた見直し
 - ・ 感染力が2倍となった場合にも対応できるように、医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進、治療薬の確保を対策の柱として記載
- 「新たなレベル分類の考え方」 (R3.11.8コロナ対策分科会提言) を踏まえ、**緊急事態宣言の発出等の考え方を見直し**
 - ・ 緊急事態宣言はレベル3相当、まん延防止等重点措置はレベル3又はレベル2相当で総合的に検討
- ワクチン接種の進捗を踏まえ、**第三者認証制度やワクチン・検査パッケージ等を活用し、行動制限を緩和**
 - ・ 飲食、イベント、外出・移動等の制限緩和 等

国の「新たなレベル分類」の考え方

県ロードマップ 警戒レベル

レベル0 (感染者ゼロ水準)	【判断基準】 ・新規陽性者数ゼロを維持できている状況 【求められる対策】 ・ワクチン接種率の更なる向上及び追加接種の実施、医療提供体制の強化、総合的な感染対策の継続	ステージ1
レベル1 (維持すべき水準)	【判断基準】 ・安定的に一般医療が確保され、新型コロナ感染症に医療が対応できている状況 【求められる対策】 ・レベル0と同様	感染拡大警報 (富山アラート)
レベル2 (警戒を強化すべき水準)	【判断基準】 ・ 新規陽性者数の増加傾向 が見られ、医療の負荷が生じはじめているが、段階的に病床数を増やすことで、医療が必要な人への適切な対応ができている状況 ・予測ツール等を用いながら、地域の実情に合わせて、保健所のひっ迫も考慮し、病床使用率や新規陽性者数も含め、各都道府県が具体的な数値を設定 【求められる対策】 ・感染リスクの高い行動の回避を呼びかけ、感染拡大防止に必要な対策の実施 ・保健所の体制強化、必要な病床数を段階的に確保、入院医療・宿泊療養・自宅療養を一体的に運用 ・ 特定の区域で感染が急速に拡大 し、県全域に拡大する恐れがある場合は まん延防止等重点措置 を検討	ステージ2 感染拡大特別警報
レベル3 (対策を強化すべき水準)	【判断基準】 ・一般医療を相当程度制限しなければ、医療が必要な人への適切な医療ができなくなると判断された状況 ・予測ツール等に基づき「 3週間後に必要とされる病床数 」が 確保病床数に到達 した場合又は 病床使用率や重症病床使用率が50%を超えた場合 に都道府県が総合的に判断 【求められる対策】 ・ 緊急事態措置、まん延防止等重点措置 、ワクチン接種や検査の戦略的かつ集中的な実施、 飲食店やイベントの人数や時間の制限	ステージ3
レベル4 (避けたい水準)	【判断基準】 ・一般医療を大きく制限しても新型コロナ医療に対応できない状況 【求められる対策】 ・更なる一般医療の制限や積極的疫学調査の重点化、災害医療的な対応	

ロードマップに基づく要請内容の見直し①

【外出・飲食の自粛】

	ステージ3	ステージ2	ステージ1
見直し前	<p>外出 飲食 日中 × × 夜間 × ×</p> <p>※緊急性又は重要性が高いなどの理由で外出する場合でも基本的な感染防止対策等が徹底されていない施設や飲食店への出入りを自粛</p>	<p>外出 飲食 日中 ○ ○ 夜間 ○ ×(2時間以上)</p> <p>1 基本的な感染防止対策等が徹底されていない施設や飲食店への出入りを自粛するよう要請 2 昼間、夜間を問わず、家族以外のグループでの会食は少人数(4人以下)・短時間とするよう要請</p>	<p>外出 飲食 日中 ○ ○ 夜間 ○ ○</p> <p>1 基本的な感染防止対策等が徹底されていない施設や飲食店への出入りを自粛するよう要請 2 昼間、夜間を問わず、会食の際は感染防止対策を徹底(※11/19改正)</p>
	不要不急の都道府県間の移動を自粛	緊急事態宣言対象地域(まん延防止等重点措置地域を含む)及び感染拡大地域との不要不急の移動自粛を要請	緊急事態宣言対象地域(まん延防止等重点措置地域を含む)との不要不急の移動自粛を要請
見直し後	<p>【共通】外出・移動や飲食の際は基本的な感染防止対策を徹底するよう要請、第三者認証飲食店や業種別ガイドラインを遵守している施設等の利用を推奨</p>		
	<p>1 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出を自粛するよう要請</p> <p>2 基本的な感染防止対策等が徹底されていない施設や飲食店への出入りを自粛するよう要請</p> <p>3 昼間、夜間を問わず、家族以外のグループでの会食は少人数(4人以下)・短時間とするよう要請(※1)</p>	<p>1 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出を自粛するよう要請</p> <p>2 昼間、夜間を問わず、家族以外のグループでの会食は少人数(4人以下)・短時間とするよう要請(※1)</p>	
	<p>※1 ワクチン・検査パッケージ制度の適用がある第三者認証飲食店を利用する場合、人数・時間の制限なし。ただし、感染が急速に拡大する場合等においてはワクチン・検査パッケージ制度を適用しない。</p>		
	不要不急の都道府県間の移動を自粛(※2)	<p>1 緊急事態宣言対象地域(まん延防止等重点措置地域を含む)との不要不急の移動自粛を要請(※2)</p> <p>2 感染拡大地域との不要不急の移動自粛を要請(※2)</p>	緊急事態宣言対象地域(まん延防止等重点措置地域を含む)との不要不急の移動自粛を要請(※2)
	<p>※2 ワクチン・検査パッケージ制度の適用がある場合、自粛要請の対象としない。ただし、感染が急速に拡大する場合等においてはワクチン・検査パッケージ制度を適用しない。</p>		

ロードマップに基づく要請内容の見直し②

【催物（イベント等）の開催】

	ステージ3	ステージ2	ステージ1
見直し前	大規模イベント等については、国の方針を踏まえ対応 ①大声での歓声・声援等がない： 収容定員に応じて50%～100%以内 ②大声での歓声・声援等がある：原則50%以内 など ・その他のイベントについては、業種別ガイドラインの徹底や催物前後の三密や飲食を回避するための方策を徹底することとし、徹底できない場合は開催を慎重に判断	大規模イベント等については、国の方針を踏まえ対応 ①大声での歓声・声援等がない： 収容定員に応じて50%～100%以内 ②大声での歓声・声援等がある：原則50%以内など	大規模イベント等については、国の方針を踏まえ対応 ①大声での歓声・声援等がない： 収容定員に応じて50%～100%以内 ②大声での歓声・声援等がある：原則50%以内 など
見直し後	<p>【共通】1 大規模イベント等については、国の方針を踏まえ対応 ①大声での歓声・声援等がない：収容定員に応じて50%～100%以内 ※大声での歓声・声援等がない5000人超のイベントを「感染防止安全計画」を策定のうえ実施する場合は収容定員100%以内 ②大声での歓声・声援等がある：原則50%以内 など</p> <p>2 イベントの規模に関わらず、開催にあたっては業種別ガイドラインを遵守するとともに、三密の回避、人と人の距離の確保、マスクの着用、催物前後の選手・出演者や参加者の行動管理等、基本的な感染防止対策を徹底することとし、徹底できない場合は開催を慎重に判断</p>		

〈大声・声援なしのイベント〉

収容定員	人数上限	「感染防止安全計画」策定時	
		策定時	※ワクチン・検査パッケージ適用時
5,000人未満	収容定員の100%	—	—
5,000人～10,000人未満	5,000人	収容定員の100%	—
10,000人以上	収容定員の50%	収容定員の100%	—
	重点措置区域	5,000人	収容定員の100%
	緊急事態措置区域	5,000人	収容定員の100%

〈大声・声援ありのイベント〉

収容定員	人数上限	
10,000人未満	収容定員の50%	
10,000人以上	収容定員の50%	
	重点措置区域	5,000人
	緊急事態措置区域	5,000人

ロードマップ判断指標の基準見直し

国「基本的対処方針」や県「病床確保計画」の見直しなどを踏まえ、以下のとおり**基準を見直し**

判断指標		現行基準	新基準	備考
医療提供体制	①入院者数 (直近1週間1日当たりの平均)	140人	200人	【感染拡大警報】 ③、④の指標のいずれも基準に到達し、①または②の指標が一定程度上昇した際に警戒情報発令 【Stage2】 ③、④の指標のいずれも基準に到達かつ①または②の指標が基準の50%に到達し数日継続した際に発令
	②重症病床稼働率 (直近1週間1日当たりの平均)	30%	30% (変更なし)	
感染状況	③新規陽性者数(人口100万人当たり) (直近1週間1日当たりの平均)	10人	25人	【感染拡大特別警報】 ③、④の指標のいずれも基準に到達し、①または②の指標が基準を超えた際に特別警戒情報発令 【Stage3】 ①～④の指標全てが基準に到達し数日継続した際に発令
	④感染経路不明の新規陽性者数(人口100万人当たり) (直近1週間1日当たりの平均)	4人	10人	

年末年始の感染再拡大を防ぐために

- ワクチン接種が先行した諸外国では**ブレークスルー感染**や大幅な規制緩和の中で**リバウンド**が発生している状況もある
- 「懸念される変異株」指定の**オミクロン株**が国内でも確認

年末に向けた社会経済活動の活発化や、**気温の低下**による屋内での活動の増加がリスクに

感染の再拡大を防ぐためには、一人ひとりが感染防止対策を継続することが重要

うつさない、うつらない行動を徹底

- ワクチンを接種後も油断せず、引き続き感染防止対策を徹底(マスク着用、手指消毒、ゼロ密、換気など)
- 体調不良時は出勤や登校、外出を控え、速やかに医療機関を受診
- 年末年始の会食や旅行では、県内・県外を問わず、感染防止対策が徹底された第三者認証店を利用し、会話の際のマスク着用、手指消毒などの対策を徹底